

復員廳第二復員局公報

第七二號

事務主任

第二復員局文書課

昭和二十二年一月六日(月)

令 達

復員廳第二復員局公報

當分ノ間第二復員部内ニ勤務スル官吏(外地又ハ外國ニ在ル者ヲ除ク)ノ官衙ノ閉鎖、要員整理又ハ復員輸送若クハ掃海作業ノ任務終了ニ因ツテ退職スルトキハ俸給一月分ニ相當スル金額ノ退職手当ヲ支給スルコトガデキル。

第二復員部内退職手当支給規則第六條、第八條乃至第十條ノ規定ノ前項ノ旨ニ依リテ適用スル。

昭和二十二年七月一日以後退職シタ者ニコレヲ適用ス

復員廳 總裁

復員廳第二復員局公報

第二復員部内退職手当支給規則ヲ次ノヤウニ制定スル。

復員廳 總裁

第一條 第二復員部内ニ勤務スル嘱託者、雇員又ハ傭人ノ官衙

復員廳第二復員局公報 第七二號 昭和二十二年一月六日

0401

内ノ金額

二 勤続一年以上ノ者ハ第一號ノ金額ニ勤続一年ヲ超ユル勤続期間一月毎ニ退職當時ノ給料ト臨時家族手當ノ合計額ノ二十四分ノ一ヲ乘ジテ得タ金額ヲ加算シタ金額

三 自己ノ便宜又ハ自己ノ責ニ歸スベキ事由ニヨツテ退職スル者以外ノ者ニ對シ前各號ニヨリ計算シタ額ガ本人五百圓、臨時家族手當ノ扶養家族一人ニツキ百圓ノ割合ヲ以テ計算シタ額ヨリ少額ナトキハ本人五百圓、扶養家族一人ニツキ百圓ノ割合ニテ計算シタ金額

第三條 官衙ノ閉鎖、要員ノ大幅整理(當該官衙ニアル嘱託者、雇員及ビ傭人ノ全數ノ五分ノ一以上ヲ一時ニ整理スル場合ヲ謂フ)又ハ輸送任務若クハ掃海任務ノ終了ニヨリ退職スル者デ在職中職務ニ精勵シ成績顯著ノモノニハ前條第一號及ビ第二號ノ規定ニ拘ラス退職當時ノ給料ト臨時家族手當ノ合計額ノ二分以内ノ金額ヲ退職手當トシテ支給スルコトガデキル。前條第三號ノ規定ハ前項ノ場合ニコレヲ準用スル。

第四條 勤務期間ハ左ノ各號ニヨリ計算スル。

- 一 勤務期間ハ月ヲ以テ計算シ一月未滿ハ切捨テル。
- 二 第二復員部内ニ於ケル官吏、嘱託者、雇員及ビ傭人ノ引續イタ勤務期間ハコレヲ通算スル。
- 三 退職ノ日又ハソノ翌日第二復員部内ニ於テ再就職シタトキハ前後ノ在職期間ハコレヲ通算スル但シ退職ノ際退職手當ノ支給ヲ受ケタトキハ月ヲ限リデナイ。

四 昭和二十年十二月一日前ヨリ引續キ勤務シテキル者ニツイテハ昭和二十年十一月三十日以前ノ在職期間ハコレヲ通算シナイ。

五 外地又ハ外國ヨリ内地ニ歸還シタ海軍軍人軍屬デ引續キ勤務シテキル者ニツイテハ内地ニ上陸シタ日以前ノ在職期間ハコレヲ通算シナイ。

第五條 退職手當ノ金額ニ四位未滿ノ端數ヲ生ジタトキハコレヲ四位ニ切上ゲル。

第六條 廳長ハ勤務怠惰、成績不良其ノ他必要アリト認メル場合ハ其ノ情狀ニヨリ手當ノ額ヲ減ジ又ハコレヲ支給シナイモノトスル。

第七條 第四條第三號但書ニ該當スル者再就職後ノ勤続期間ニヨリ計算シタ退職手當ノ額ガ既ニ受ケタ退職手當ノ額ヨリ多キトキニ限リソノ差額ニ相當スル額以内ノ退職手當ヲ支給スルコトガデキル。

第八條 退職手當ヲ支給サレタ者死亡シタトキハソノ遺族ニコレヲ支給スル。

第九條 自己ノ便宜又ハ自己ノ責ニ歸スベキ事由ニヨツテ退職スル者以外ノ者ニ對スル退職手當ハ五百圓以内ヲ自由支拂トナスコトガデキル。

第十條 資金前渡官吏退職手當ヲ支給シタトキハ翌月十五日迄ニ等級別(一、二、三級官吏、嘱託者、雇員及ビ傭人別)員數及ビ金額ヲ調査シタ調書ヲ作成シ所屬ノ經理部長ニ提出スル

モノトスル。
經理部長前項ノ調書ニヨリ總括調書(支出官支拂ノ分ヲ含ム)
ヲ作成シ其ノ月ノ末日迄ニコレヲ第二復員局經理部長ニ送付
スルモノトスル。

附則

本則ハ昭和二十一年七月一日以後退職シタ者ニコレヲ適用ス
ル。

○雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 巨 濟 鹿兒島市住吉町海岸通り
鹿兒島運航部氣付
同 海第一六〇號 東舞鶴郵便局氣付
掃海母艦 新 南 同
特別保管艦 波 風 横須賀市浦賀町
横須賀運航部氣付

○事務所

十二月十五日移轉 仙崎運航部
山口縣大津郡仙崎町元仙崎引揚援護局
邦入收容所跡

○残務整理

十二月十二日開始 特別輸送艦波勝残務整理班
吳市下山手町地方復員局内

復員廳第二復員局公報 第七二號 昭和二十二年一月六日

0403

復員廳第二復員局公報

第七三號

復員廳長

第二復員局文書課

昭和二十二年一月七日(火)

○訓示

第十九番電。(昭和二十一年十二月二十八日發電済)

發 復員廳總裁

着 各復、各連、總特輸

訓示ノ件

茲ニ特別輸送艦ノ復員輸送殆ド終了セントスルニ際シ一言御挨拶ヲスル。

特別輸送艦ハ昨年十月ア日イチ早ク復員輸送ヲ開始シテヨリ、年行半、四十八時間回轉制、二日、七日回轉制或

ニヨリ輸送力ヲ極度ニ發揮シテ定ニ二復員ノ面目ヲ遺憾ナク抑々復員輸送ノ當初計畫ハ四ヶ年以上ヲ要スル豫定デアツタ

ガ、米船ノ貸與ト相俟ツテ今日迄ニ之ヲ短縮シ得タコトハ復員者勿論國民一般ノ感謝スル所デアリ、本職ノ最モ満足スル所デアル。茲ニ乘員始メ關係員ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表スル。

尙今後トモ殘ツテ引續キ復員輸送又ハ保管業務ニ從事セラレル人々ニ對シテハ其ノ御苦勞ヲ衷心ヨリ多トスルト共ニソノ任務ノ完遂ヲ祈ツテ已マヌ。

○令 達

復二第五〇九號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十一年十二月三十一日

復員廳總裁

別紙第二ノ第二十八條表中吳地方復員局ノ項運航部ノ欄「仙崎」ヲ削ル

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第五一〇號

復員廳地方復員局定員表中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十一年十二月三十一日

復員廳總裁

吳地方復員局ノ部中仙崎運航部ノ項ヲ削ル。
合計ノ項中「七七八」ヲ「七七三」ニ、「一八三一」ヲ「一八〇九」ニ、「五三七七」ヲ「五三五四」ニ改メル。

(參照 十月二十一日第二復員局公報)

○通 牒

復員廳第二復員局公報 第七三號 昭和二十二年一月七日

五

0404

二復總第四八一號

昭和二十一年十二月二十八日

第二復員局總務部長

關係各廳長殿

部外委託患者取扱ニ關スル件申進

昭和二十一年十二月一日復二第四二七號(昭和二十一年十二月九日公報參照)ニ關連首題ノ件次ノヤツニ取計ワレタイ。

記

一 長期ニ亘リ診療(通ヒ治療ヲ含ム)ヲ要シ再度勤務ノ見込ミナキ者ハ可成速ニ(診療期間約二週間ヲ標準トス)解僱ノ手續キヲ取ラレタイ。

二 昭和二十一年二月五日二復醫務部第二四號(昭和二十一年二月六日公報參照)ニヨル部外委託患者報告、同轉歸報告寫一通ヲ第二復員局總務部醫務課宛送付サレタイ。

○雜款

○郵便物發送先

特別保管艦 萩

横須賀市田浦町

同 神 島 同

横須賀運航部長浦分室氣付

同 樺 同

東舞鶴郵便局氣付

同 海 第八一號 同

同

同 海 第八七號 同

同

○事務所

昭和二十一年十二月二十七日移轉

吳地方復員局補給部 吳市二河公園補給部本部内

昭和二十一年十二月二十四日移轉

愛媛地方世話部第二復員課 松山市御幸町(舊城北練兵場北側舊護國神社境内)

市内電車

城南線上一萬 城北線清水町 下車各徒歩約五分

○殘務整理

昭和二十一年十二月二十五日開始

特別輸送艦箕面殘務整理班 廣島縣吳市下山手町 吳地方復員局經理部内

同	掃第二一號	同
同	白 崎	佐世保市福石町
同	對 馬	佐世保運航部氣付
同	柿	同
同	輪第一四七號	田浦郵便局氣付
同	隴濬第四七號	同
同	驅濬第四九號	同
同	推	舞鶴市長濱
同		舞鶴地方復員局總務部氣付

0405

復員廳第二復員局公報

第七四號

昭和二十二年一月八日(水)

第二復員局文書課

○令 達

復二第四九四號

昭和二十年内令第七號中次ノヨツニ改正スル。

昭和二十一年十二月二十五日

復員廳

復員廳 總裁

下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「鶴來(佐)」ノ次ニ「新南(佐)」ヲ、「同(哨特) 第五百五十三號」ノ次ニ「同第五百五十四號」ヲ、「同(哨特) 第五百五十五號」ノ次ニ「同第八十四號(舞)」ヲ、「同(驅潜特) 第二百四十九號(佐)」ノ次ニ「同第五十七號(舞)、同第五百十七號(舞)、同第六十二號(舞)、同第六十六號(舞)、同第六十七號(舞)、同第六十八號(舞)、同第六十九號(舞)、同第七十號(舞)、同第七十一號(舞)、同第七十二號(舞)、同第七十三號(舞)、同第七十四號(舞)、同第七十五號(舞)、同第七十六號(舞)、同第七十七號(舞)、同第七十八號(舞)、同第七十九號(舞)、同第八十號(舞)」ヲ加ヘ、掃海艦名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船) 五隻」ヲ「雜役船(曳船) 六隻」ニ改メル。

舞鶴掃海部ノ項ヲ削ル。

復二第四九五號

元第五百五十四號哨戒特務艇

右ヲ掃海艦トシ吳地方復員局所管ト定メル。

復員廳第二復員局公報 第七四號 昭和二十二年一月八日

昭和二十一年十二月二十五日

復員廳 總裁

復二第四九六號

舞鶴地方復員局所管

掃海艦 驅潜特第八十四號

右ヲ特別輸送艦ト改メル。

舞鶴地方復員局所管

特別輸送艦 驅潜特第八十四號

右ヲ特別保管艦(特)ニ指定スル。

昭和二十一年十二月二十五日

復員廳 總裁

○通 牒

復二第五一二號

昭和二十一年十二月二十八日

復員廳第二復員局長

各廳長 殿

執務時間中ニオケル官吏ノ政治運動ニ關スル件通牒

0406

首題ノ件ニツイテ別紙ノヤウニ内閣書記官長ヨリ通知ガアツタ
カラ了知サレタイ。

内閣閣中第四三一號

昭和二十二年十二月十七日

内閣書記官長 林 讓治

復員廳總裁殿

本日別紙ノトオリ閣議デ申合セガアツタカラ命ニヨツテ通知ス
ル。

閣議申合セ

十二月十一日附内閣書記官長ヨリ各省次官宛通牒ノ次第モアリ
官吏方執務時間中政治運動ニ参加シタル場合ハ各所管大臣ハ主
謀者以下ノ嚴重ニ處分スルコト。

閣中第四二〇號

昭和二十二年十二月十一日

内閣書記官長

復員廳總裁殿

新聞紙ノ傳エルトコロニヨレバ、近ク内閣打倒國民大會ナルモ
ノガ行ワレ、官公職員モ休業シテコレニ参加スルヨウナ風評ガ
アルガ、官公職員方濫リニ職務ヲ離レルコトハ、モトヨリ職務
ノ紀律ニ違反スルモノデアリ、ソノ職責上マコトニ不都合デア
ルカラ、左様ナコトノナイヨウ充分貴部内職員ニ對シ徹底方御
配慮願ヒタイ。右命ニヨツテ通知スル。

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

特別輸送艦	葛	橫須賀市浦賀町
同	早崎	橫須賀運航部氣付
同	海第六七號	大阪市此花區日立
同	海第一〇五號	櫻島造船所氣付
同	隱岐	舞鶴市北吸舞鶴運航部氣付
同	海第二七號	鹿兒島市住吉町海岸通り
同	海第二二號	鹿兒島運航部氣付
同	海第一二號	佐世保市福石町
試航船	東亞丸	佐世保運航部氣付
		岡山縣玉野市玉野郵便局氣付

復員廳第二復員局公報

第七五號

第二復員局文書課

昭和二十二年一月九日(木)

○通牒

復二第五三三號

昭和二十一年十二月二十八日

復員廳第二復員局長

應 長 殿

火災警防ニ關スル件通牒

首題ノ件ニツイテ別紙ノヤウニ内閣官房總務課長カラ通知ガア
給ル所ニテ御意アリタク、命ニヨツテ通知スル。

(別紙)

昭和二十一年十二月二十三日

内閣官房總務課長

火災警防ニツイテ

標記ノ件ニツイテ内務次官カラ別紙ノトオリ通知ガアツタカ
然ルベク御配意アリタク、命ニヨツテ通知スル。

(別紙)

内務省發警第一七六號

復員廳第二復員局公報 第七五號

昭和二十二年一月九日

昭和二十一年十二月十四日

内務次官 官 團

内閣書記官長殿

火災警防ニツイテ

今般標記ノ件ニツイテ各地方長官宛別紙ノ通り通牒シタノデ右
御了知ノ上御協力相成度通知シマス。

(別紙)

内務省發警第一七八號

昭和二十一年十二月十四日

内務次官

各地方長官殿

火災警防ニツイテ

最近全國ニ於ケル火災損害ハ著シク増加シ公共的建築物其ノ他
多數ノ民家ヲ灰燼ニ歸シテ社會不安ノ原因トモナリツツアルガ
時恰モ火災期ニ直面シ警防各般ノ施策ヲ強力ニ推進スル要ガア
ルノデ此ノ際特ニ左記ニ留意ノ上關係向ニ對スル指導其ノ他各
段ノ御配意相成リタイ。

記

一 官公衙等公共的建築物ニツイテハ特ニ一般ノ範トナル如ク

九

0408

火災ノ豫防シ徹底シ警戒ヲ嚴ニスル様指導督勵スルコト。
 二 一般ニ對シテハ隨時警戒火心ノ喚起ニ努ムルト共ニ應急防火ノ協力、火災通報ヲ迅速方ヲ指導スルコト。
 三 官設消防、常備消防共ノ他警防團等消防擔當機關ハ特ニ火災ノ豫防、警戒ヲ嚴ニスルトモニツノ機能ノ十分ナル發揮ヲ期スル如ク訓練ヲ勵行シ裝備ヲ精査補充スル等活動態勢ヲ強化スルコト。
 尙自衛消防ニツイテモ前項ニ準ジ指導スルコト。

二復經主第六號ノ一一七
 昭和二十二年一月七日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長 殿

引揚證明書ヲ所持シナイ者ニ對スル持歸金ノ支拂ノ件通知

首題ノ件ニ關シ大藏省理財局長ヨリ別紙ノ通り通知ガアツカ
 ラ承知サレタイ。

(別紙)

藏理外第五八二四號

昭和二十二年十一月二十八日

大藏省理財局長

第二復員局經理部長 殿

引揚證明書ヲ所持シナイ者ニ對スル持歸金ノ

0409

支拂ニツイテ
 引揚氏ニ對スル持歸金ノ支拂ニツイテハ左ノ引揚證明書ニ裏書
 スルコトトシテ實施シテ來タ。
 一 昭和二十一年二月二十八日迄ニ引揚ゲタ者
 (イ) 一般人
 上陸港所在府縣知事ニハ引揚援護事務所ガ發行シタ引揚證
 明書類
 (ロ) 軍人、軍屬
 上陸港所在復員支局ニハ復員事務所ガ發行シタ復員證明書
 類(佐世保ハ從軍證明書、大竹ハ歸郷證明書等ヲ發行シタ
 場合ガ有ル)
 二 昭和二十一年三月一日以降引揚ゲタ者
 一般人、軍人、軍屬ヲ問ハズ上陸港所在引揚援護局ガ發行シ
 タ引揚證明書
 但シ博多ニ於テハ三月八日迄舊制度、三月九日以降ハ前記ニ
 ノ證明書
 所ガ右引揚證明書類ヲ紛失共ノ他ノ理由ヲ所持シナイ爲他ノ證
 明書ニ依リ持歸金ノ支拂方ヲ請求シテ來ル者ガ非常ニ多イ。就
 テハ之等ノ中左記ノ者ニ限リ他ノ證明書ニ據ル持歸金ノ支拂ヲ
 認メルコトトシタカラ右御了知ノ上然ル可ク御取計願ヒタイ。

記
 一 持歸金二百圓以下ノ少額ノモノニ對シテハ、市區町村長ガ
 持歸金受取ノ爲ニ發行スルモノデ有ル旨ヲ記載シテ發行シタ

引揚證明書ニ據ル。

二 二月十二日頃荒崎丸、早崎丸デ大竹港ニ上陸シテ軍人、軍屬ニ對シテハ、市區町村役場ガ、上陸港デ交付サレタ復員證明書類ヲ燒却其ノ他ノ處分ヲナシテ者、更ニ持歸金受取ノ爲ニ發行スル旨ヲ記載シテ發行シタ引揚證明書ニ據ル。

三 戦犯關係デ引揚ゲテ來タ者ニ對シテハ、聯合軍ノ發行シタ歸還指令及市區町村長ガ持歸金受取ノ爲ニ發行スル旨記載シテ發行シタ引揚證明書ニ據ル。

四 上陸ト同時ニ病院ニ入院シタ爲引揚證明書、復員證明書類ノ交付ヲ受ケナカッタ者ニ對シテハ、病院長ガ上陸港デ引揚證明書、復員證明書類ノ交付サレナカッタ旨、更ニ持歸金受取ノ爲發行スル旨ヲ記載シテ發行シタ入院又ハ退院證明書ニ據ル。

五 上陸ノ際引揚證明書、復員證明書類ヲ交付サレナカッタ者ニ對シテハ、上陸港所在ノ引揚援護局、復員支局ガ引揚證明書類ヲ上陸ノ際交付シナカッタ旨ヲ附記シテ後日發行シタ引揚證明書、復員證明書ニ據ル。

復員廳第二復員局公報

第七六號

昭和二十二年一月十日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復之第五〇八號

横須賀地方復員局所管
特別輸送艦 楠
吳地方復員局所管
同 雲 風
同 宵 月
同 波 太
佐世保地方復員局所管
同 探 提
同 海第二十七號
同 海第二百三十二號
舞鶴地方復員局所管
同 樺
同 占 守
右ヲ特別保管艦ニ指定スル。
昭和二十一年十二月三十日

復員廳總裁

復員廳第二復員局公報 第七六號 昭和二十二年一月十日

復二第五二五號

掃海監部設置ニ伴ヒ當分ノ間次ノヨウニ人員ヲ臨時減員スル。

昭和二十一年十二月三十一日

復員廳總裁

第二復員局總務部掃海課

復員事務官 (二級 三人 四入)

嘱託 一人 一人

雇員、備人 四人

復二第二號

右ヲ特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定メル。
S B 第一百十四號
佐世保地方復員局所管

特別輸送艦 S B 第一百十四號

右ヲ特別保管艦(特)ニ指定スル。

昭和二十二年一月六日

復員廳總裁

復二第八號

昭和二十二年一月九日

0411

復員廳總裁

海軍計算證明規程中

第五條第一項第二號「經理部補給部以外ノ出納官吏ノ出納ニ係ル前渡資金」トアルヲ「艦船ノ出納官吏ノ出納ニ係ル前渡資金」ニ改メル。

附則

本改正ハ昭和二十一年六月十四日ヨリコレヲ適用スル。

○通牒

復二第一號

昭和二十二年一月六日

復員廳第二復員局文書課長

各廳長殿

職員組合ノ貼紙等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノヤウニ通知ガアツタカララ知サレタイ。

(別紙)

内閣閣中第四四二號

昭和二十二年十二月二十三日

内閣書記官長

復員廳總裁殿

職員組合ノ貼紙等ニ關スル件

標記ノ件ニツイテ本日ノ次官會議ヲ別紙ノトオリ申合セガアツタカラ念ノ爲通知シマス。

(昭和二十一年十二月二十三日次官會議申合せ)

最近官公署ノ廊下等ニ職員組合ノ貼紙等ガ多數見受ケラレルガ、廳舎ヲ清潔ナラシメル上カラ見テモ此ノ際職員組合ノ揭示ハ一定ノ揭示場等ヲ設ケテ之ヲ行ハシメルコトト致シタイ。

二復經主第八號ノ二六二

昭和二十二年一月九日

第二復員局經理部長

各地方復員局經理部長殿

前渡資金ノ委託検査變更ニ關スル件通牒

今般復二第八號ニ依ツテ海軍計算證明規程第五條第一項第二號ガ改正サレ經理部長ノ行フ前渡資金ノ委託検査ハ艦船ノ出納官吏ノ出納ニ係ル分ニノミ局限サレタノデ艦船以外ノ資金前渡官吏ノ計算證明書類ハ二十一年六月以降ハ會計検査院ニ提出ノ要ガアル。

追ツテ右ニ該當スルモノデ下検査済ノモノハ速ニ送付アリタイ。

○雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 杉 佐世保郵便局氣付

同 海第二七號 同

同 海第二〇五號 舞鶴市長濱舞鶴運航部氣付

0412

昭和二十二年一月十三日

復員廳 總裁

別表中復員事務官三級「三一」ヲ「一七」ニ、雇員、傭人「四五」シ「四一」ニ、計「九十二人」ヲ「七十四人」ニ改メル。

(參照 十二月二十六日第三復員局公報)

○ 通 牒

第一番電、第二番電(昭和二十一年十二月二十七日發電濟)

發 第二復員局長

宛 部内一般

年末一時金支給ノ件

左ニヨリ年末一時金ヲ支給スルコトニ定メラル。

一 受給者

本年十二月一日現在在籍ノ第二復員部内官吏、囑託者、雇員及ビ傭人並ビニ軍人軍屬(本年十二月一日退職、離現役、召集解除又ハ死亡シタル者ヲ含ム)但シ左ノ者ヲ除ク。

(イ) 俸給、給料又ハ報酬(以下單ニ俸給ト稱ス)ノ支給ヲ受ケザル者

(ロ) 囑託者中一時ノ報酬ヲ受クル者及ビ謝禮金又ハ贈與金ヲ受クル者

(ハ) 休職、停職又ハ待命中ノ者

(ニ) 本年十二月一日部外ニ轉官、轉雇又ハ轉傭シタル者

(ホ) 内地外ニ在ル軍人軍屬ニシテ臨時家族手當ノ支給ヲ受ケ

ザル者

二 支給額

(イ) 内地(樺太ヲ除ク以下之ニ同ジ)勤務者(内地外ヨリ歸還シ臨時囑託トナリタル者ヲ含ム)左ノ各號ニ依リ算定シタル金額ノ合計額(十回單位未滿ノ端數ハ十回單位ニ切上グ)トス但シ額ハ各人ニ付俸給ノ三分分(日給者ニ付テハ三十日分ヲ以テ一月分トス以下之ニ同ジ)ヲ超エザルモノトス。

(一) 受給者全員ニ對シ一率ニ俸給ノ一月分ニ四〇〇回(本年八月一日以降新ニ政府職員トシテ就職シタル者ハ二〇〇回)ヲ加ヘタル額

(二) 臨時家族手當ノ支給ヲ受クル者ニ對シ當該手當一月分相當額

(三) 勤務成績優良ナル者ニ對シ俸給ノ〇・二月分以内

(四) 勤務成績拔群ナル者ニ對シ(三)ニ依ルノ外更ニ〇・三月分以内但シソノ支給員數ハ受給者員數ノ一割以内トス。

(ロ) 内地外ニ在ル軍人軍屬(内地外ヨリ歸還シ未ダ解員又ハ整理セラレザル者ヲ含ム)ニシテ臨時家族手當ノ支給ヲ受クル者一率ニ俸給ノ二月分

(ハ) 地方世話部勤務者ニ付テハ別ニ定ム。

三 支拂方法

左ノ各號ノ合計額ノ限度ニ於テ自由支拂トシコロシ超ユル部分ハ封鎖支拂トス。

0414

(イ) 受給者全員ニ對シ 六〇〇圓
 (ロ) 臨時家族手当ノ支給ヲ受クル者ニ對シ第二復員部内臨時家族手当支給規則ニ依ル扶養家族ノ員數ニ一〇〇圓ヲ乗シタル額
 四 報告
 各經理部長ハ管下各部ニ於ケル支給員數及ビ支給額ノ實績ヲ取リマトメ内地勤務者及ビ軍人軍屬ニ區分シ速ニ報告スルモノトス。

復二第五二七號
 昭和二十一年四月一日官房經第六一號處出科目中左ノ通り追加セラレタ。

昭和二十一年十二月二十八日
 復員廳第二復員局長
 歳出臨時部

款	項	目	節	解	疏
復員諸費	第二復員諸費	(諸給與)	特別給與	昭和二十一年十二月二十七日第一及第二番電ニ依ル	ニメ
		(諸手当)			

在外部諸費	退職手当
特別給與	昭和二十一年十二月二十八日復二第五〇五號ニ依ル分
昭和二十一年十二月二十七日第一及第二番電ニ依ル分	ヨル

二復總第一八七號ノ二
 昭和二十一年十二月十五日
 復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿
 特別保管艦艇保管實施要領改正ノ件通知

二復總第一八七號(八月二十三日)ニヨル特別保管艦艇保管實施要領ヲ次ノヤウニ改正サレタ。

- 特別保管艦艇保管實施要領
- 一 特別保管艦トハ一九四六年六月十八日 *Com Nav Jap. Sec. 1* *Sec. 5* ニヨツテ引揚輸送又ハ掃海任務カラ除カレ將來ノ處理ガ決定スル迄保管サセラレル艦艇ヲ謂イ其ノ保管ハ本實施要領ニ依ツテ行フ。
 - 二 特別保管艦中修理ヲ行ハナイテ現狀ノマ、保管シ必要最少限度ノ監視員ヲ乗艦サセ本保管實施要領ニ準ジテ保管スル艦艇ハコレヲ特別保管艦(特)トスル。
 - 三 特別保管艦(特モ含ム以下同ジ)ハ總テ特別輸送艦トスル。

復員廳第二復員局公報 第七七號 昭和二十二年一月十五日

0415

四 艦艇方特別保管艦ト定メラレク場合ニハ中央カラ關係各部

ニ對シテ左ノ事項ヲ指令スル。

(イ) 保管地及ビ保管地ヘノ回航要領

(ロ) 其ノ他必要事項

五 保管地ヲ管轄スル地方復員局長ハ右ノ指令ヲ受領シクナラバ連ニ該艦ノ群、組、基準保管艦、通常保管艦別及ビ泊地(繫留浮標番號又ハ繫留岸壁名等)ヲ中央及ビ當該艦並ビニ所要ノ向ニ通知スル。

六 特別保管艦ニ指定サレク艦艇ハ中央指令ニ依ツテ保管地ニ回航シ指定ノ泊地ニ付イテ之ヲ當該地方復員局長並ビニ所要ノ向ニ報告通報スル。

七 當該地方復員局長ハ特別保管艦入港後ナルベク連ニ別表第一特別保管作業實施標準ニ基イテ次ノ諸作業ヲ實施サセ作業方終了シクナラバ當該地方復員局長ハ現狀報告、搭載物件目錄(陸揚シナイデ搭載シテ置ク物件)、陸揚物件目錄及ビ保管作業實施經過概要所見各二通ヲ調製シテ第二復員局長ニ提出スル。

(イ) 現狀報告及保管物件目錄提出

特別保管艦ハ連ニ現狀報告、搭載物件目錄及ビ陸揚物件目錄四通ヲ調製シテ當該地方復員局長ニ提出スル。

(ロ) 現狀調査

當該地方復員局長ハ右現狀報告並ビニ物件目錄ニ基イテ連ニ現狀調査ヲ行フ、ソノ爲關係地方復員局長ハ豫メ左ノ職

員ニ依ツテ現狀調査委員ヲ編成シテ置ク。

委員長 地方復員局長

委員 總務運航造修經理補給通信醫務關係者適宜

委員附 適宜

(ハ) 物件ノ陸揚還納

次ノ物件ハ搭載シテ置キ、他ハ陸揚還納スル。

(一) 燃料

現ニ保有シテ居ル重油全部、其ノ他ハ必要最少限度

(二) 需品、被服、糧食、治療品、酒保物品等

備品ハ全部、糧食ハ保管員ノ一ヶ月分以内、其ノ他ハ必要最少限度

(四)(三) 水路圖誌

機關部分品艙裝品

但シ掃海用施設器具類ヲ現ニ就役中ノ掃海艦艇ニ流用スルノハ差支ナイ。

保管群ノ編成

(一) 當該地方復員局長所定ニ依ツテ六隻ツツデ一群ヲ編成シテ内ニ二隻又ハ三隻宛ヲ同一浮標ニ繫留シテ二隻(ナルベク同型艦)ツツデ一組ヲ編成スル。

特別保管艦繫留豫定地ハ別表第二ノ通りデアル。

(二) 各群ニ二隻ノ基準保管艦ヲ、各組ニ一隻ノ組基準艦ヲ置ク、但シ基準保管艦ハ組基準艦ヲ兼ヘルモノトスル。

(三) 基準保管艦長ハ群内各艦ノ、組基準艦長代理ハ組内各艦ノ保安人事教育其ノ他一切ノ指揮ニ任ズルモノト

0416

(ホ) 各艦ハ艦名以外ノ標識ヲ取り去ツテ客年十二月十八日附
第二復員局公報復二第四五八號ニ依ル標識ヲ記入スル。

(ヘ) 乗員ノ異動交替

(一) 乗員ハ各職階ヲ通ジテ定員ノ四分ノ一ヲ殘シ其ノ他ヲ
本籍地方復員局ニ復歸サセルノヲ建前トスル但シ元士
官、元特務士官、元准士官ノ異動ハ中央及ビ本籍地方復
員局カラ發令スル。本籍地方復員局ニ復歸シテ乗員ハ當
該地方復員局在籍保管艦ノ豫備員トシテ全定員ノ二十分
ノ一(保管艦定員ノ二十%)ヲ殘シテ選航部ニ置ク。

(二) 二級事務官、三級事務官(元准士官)ノ配員標準ヲ次
ノ通りトスル。

基準保管艦ニ艦長、航海長、機關長、醫務長、主計長、
掌内務長各一名、機關科掌長二名ヲ、組基準艦ニ航海長
(艦長代理)、機關長、掌内務長各一名、機關科掌長二名
ヲ配員スル、組基準艦職員ハ該組内通常保管艦ノ相當職
員ヲ、醫務長、主計長ハ該群内各艦ノ相當職員ヲ兼務ス
ル。

(三) 兼務職員ノ乘艦指定ハ各地方復員局長ガ行フ。

(四) 特別保管艦(特)ノ監視員ヲ次ノ通りトスル。
三級事務官(元准士官又ハ元下士官)一名、應急員、機
械員、職員、電機員各一名

(ト) 現狀査閲

當該地方復員局長ハ右作業終了後現狀ヲ査閲シテ保管状態
ノ完成ヲ確認スルト共ニ右作業期間中隨時作業狀況視察ヲ
行ツテ過誤ノ無イヤウニスル。

八 保管實施

(イ) 各地方復員局長ハ特別保管艦保管ノ責ニ任ジソノ實務ハ
選航部ニ擔當サセ關係各部ヲ全幅協力サセル。

(ロ) 特別保管艦ハ出動指令受領後二十日以内ニ其ノ半数ヲ出
動可能ノ状態ニ置クノヲ建前トスル。此ノ爲各艦ヲ常ニ良
態ニ在ラセルト共ニ特ニ回航準備特別作業(二復員第三五
八號十月二十六日公報)ニ依ツテ各艦乗員ニ同一組内ノド
ノ艦デモ近距離行動(マニラ行動程度)サセ得ルグケノ技
倆ヲ鍊成サセテ置ク。

(ハ) 常ニ特別保管艦ノ現狀ヲ明確ニシテ置イテ外地ニ回航指
令ガアツタ場合ノ乗員ノ補充要領、要補給物件等ニ關シテ
豫メ計畫準備ヲ完成シテ置ク、但シ出動ノ際ノ乗員ハ定員
ノ二分ノ一ヲ建前トシ更ニ充員ヲ必要トスル場合ニハ指令
スル。

(ニ) 颱風其ノ他不慮ノ事態ニ即應シ得ル準備ヲ整ヘテ置キ保
安ニ遺憾無イヤウニシテ置ク。

(ホ) 特別保管艦搭載物件ノ取扱ニ關シテハ特ニ監督ヲ嚴重ニ
シ荷モ非違行爲ヲ發生サセナイヤウニ豫防措置ヲ講ジテ置
ク。

(ヘ) 各地方復員局長ハ保管状態ヲ變更シテ場合ハ其ノ都度速
ニ電報報告スルト共ニ現狀調査委員ニ毎月月頭各特別保管

0417

艦ノ現狀ヲ調査セテ五日迄ニ到達スルヤウニ左記事項ヲ電報デ報告シ詳細ヲ書類デ報告スル。

- (一) 群組編成狀況、繫留浮標番號、繫留岸壁名
- (二) 乗員ノ現狀、二級事務官、三級事務官(元准士官)、三級事務官(元下士官) 雇員ノ員數
- (三) 船體機關各部ノ現狀 A、B、C、Dニ分類スル。

- A 完備
- B 完備迄二十日以内ヲ要スルモノ。
- C 完備迄二十日以上三十日ヲ要スルモノ。
- D 完備迄三十日以上ヲ要スルモノ。

九 日課、週課、上陸休暇

- (イ) 日課週課ハ各地方復員局長所定トシ上陸ハ從來ノ通りトスル。(二復達第一九號、一月九日公報)
- (ロ) 休暇

保管狀態完成後保管員(豫備員ヲ含ム)ノ半數宛各自十日以内ノ特別休暇一回ヲ許可スルコトガ出來ル。但シ本休暇ハナルベク速ニ終了セザルモノトスル。

- 一〇 (ハ) 休暇中在艦保管員ノ上陸外共ハ二分ノ一トスル。
- 一〇 經費

保管實施上特ニ要スル經費ハ當該地方復員局經理部宛協議スル。

(別紙添)

〇 雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦	春	月	吳市下山手町吳運航部氣付
同	巨	濟	橫須賀市田浦町
特別保管艦	初	梅	橫須賀運航部長浦分室氣付
同	粟	鳥	舞鶴市長濱舞鶴運航部氣付
同	海第一二六號	同	佐世保市福石町
同	冬	同	佐世保運航部氣付
同	初	櫻	田浦局氣付

○事務所

十二月二十六日開始 掃海監部 佐世保港在泊保管艦伊王内 尙郵便物發送先ハ佐世保郵便局氣付トサレタイ。

○正誤

一月六日附復員廳第二復員局公報合達欄復二第五〇五號第一條第二號中「報酬又ハ給料ノ支給ヲ受ケナイ」ノ下ニ「者」ヲ脱ス。第七條中「第四條第三號但書ニ該當スル者」ノ下ニ「ニハ」ヲ脱ス。

(二復總第一八七號別表第一)

特別保管作業實施標準

(昭和二十二年一月十五日復員廳第二復員局公報)

第 九 日	作業開始
第 八 日	現狀査閲、保管状態完成
第 七 日	乗員異動
第 六 日	保管群編成、標識記入、物件陸揚
第 五 日	
第 四 日	現狀調査
第 三 日	現狀報告、搭載物件及陸揚物件目録提出
第 二 日	
第 一 日	指定泊地着譜打合せ
作業實施日	作業

0419

特別保管艦發留豫定

1. 横須賀

艦種	艦名		隻数
	元特別輸送艦	元掃海艦	
驅逐艦	花月、春月、夏月、宵月、雪風、波風、潮風、初櫻、櫻、夕風、萩、葛、柿、莖、櫻桐、楠、竹		18
海防艦	福江、保高、生野、四坂、CD 14、CD 16、CD 34、CD 36、CD 37、CD 71、CD 105、CD 107	神津、倉橋、屋代、CD 48、CD 49、CD 76、CD 77	12 7
輸送艦	T9、T13、T16、T19、T110、T147		6
掃海艇		掃23、掃102	2
敷設艦	神島、巨濟	石崎	2 1
驅潜艇	驅潜47、驅潜49		2
掃海特務艇		掃特11、掃特12、掃特13、掃特14、掃特17、掃特18、掃特21、掃特22	8
驅潜特務艇		驅特1、驅特4、驅特27、驅特58、驅特68、驅特72、驅特78、驅特88、驅特155、驅特159、驅特161、驅特171、驅特181、驅特183、驅特185、驅特194、驅特196、驅特202、驅特203、驅特212、驅特221、驅特241	22
哨戒特務艇		哨特31、哨特134	2
小計	82		40 42

2. 佐世保

艦種	艦名		隻数
	元特別輸送艦	元掃海艇	
驅逐艦	櫻、雄竹、杉、楓、冬月(工作艦)		5
海防艦	宇久、金輪、波太、對馬、探提、三宅、羽節、伊王、隠岐、CD 8、CD 27、CD 32、CD 44、CD 52、CD 55、CD 57、CD 58、CD 60、CD 78、CD 79、CD 106、CD 118、CD 126、CD 132、CD 142、CD 150、CD 192、CD 194、CD 196、CD 198、CD 215、CD 221、CD 227	鶴來、竹生、生名、CD 12、CD 22、CD 104、CD 154、CD 217	33 8
輸送艦	T137、T172、T174(工作艦)		3
敷設艦	粟島、濟州、若鷹、加徳、光濟、黒島、鷲崎		7
補給船	白崎、早崎、荒崎		3
水雷艇	雉		1
驅潜艇	驅潜9、驅潜21	驅潜38	2 1
驅潜特務艇		驅特71、驅特80、驅特89、驅特90、驅特93、驅特99、驅特154、驅特158、驅特168、驅特169、驅特173、驅特231、驅特234、驅特247、驅特249、驅特250	16
掃海特務艇		掃特16	1
S B 艇	S B 109、S B 114		2
S S 艇	S S 7、S S 12、S S 18、S S 19		4
小計	86		60 26

3. 舞鶴

艦種	艦名		隻数
	元特別輸送艦	元掃海艇	
驅逐艦	初梅、樺、榎、楨、椎		5
海防艦	奄美、占守、CD 67、CD 81、CD 85、CD 87、CD 158、CD 160、CD 205、CD 207	新南、CD 26、CD 40、CD 102、CD 156	10 5
敷設艦		黒神、片島	2
驅潜特務艇		驅特57、驅特79、驅特86、驅特157、驅特162、驅特164、驅特166、驅特175、驅特179、驅特184、驅特186、驅特187、驅特198、驅特214、驅特215、驅特217、驅特219、驅特222、驅特227、驅特232、驅特236、驅特239、驅特245、驅特246	24
哨戒特務艇		哨特84、哨特135、哨特136、哨特138、哨特139、哨特152、哨特153、哨特154、哨特175、哨特179、哨特191	11
掃海特務艇		掃特19、掃特20	2
掃海艇		掃21	1
小計	60		18 42
合計	228		

0420

復員廳第二復員局公報

第七八號

昭和二十二年一月十六日(木)

第二復員局文書課

○令 達

復二第〇號

舞鶴地方復員局所管

特別輸送艦 夕

風

右ノ舞鶴地方復員局所管ト改メル。

吳地方復員局所管

同 伊

王

右ノ佐世保地方復員局所管ト改メル。

佐世保地方復員局所管

同 海第二十六號

同 海第四十號

右ノ舞鶴地方復員局所管ト改メル。

昭和二十二年一月六日

復員廳 總裁

復二第一一號

橫須賀地方復員局所管

特別輸送艦 福

江

吳地方復員局所管

同 海第十六號

同

佐世保地方復員局所管

同 隱

岐

舞鶴地方復員局所管

同

海第二百五號

右ノ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十二年一月六日

復員廳 總裁

復二第一二號

吳地方復員局所管

特別輸送艦 三

宅

同

海第三百三號

右ノ佐世保地方復員局所管ト改メル。

昭和二十二年一月七日

復員廳 總裁

復二第一三號

橫須賀地方復員局所管

特別輸送艦 海第七號

復員廳第二復員局公報 第七八號 昭和二十二年一月十六日

一一一

0421

吳地方復員局所管

同 春 月

佐世保地方復員局所管

同 杉 海第三十二號

同 海第百十八號

舞鶴地方復員局所管

同 海第八十五號

右ヲ特別保管艦ニ指定スル。

昭和二十二年一月八日

復員廳總裁

復二第三三號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年一月十五日

復員廳總裁

別表第二ノ第二十八條表中佐世保地方復員局ノ項上陸地連絡所ノ欄「鹿兒島」ヲ、大阪地方復員局ノ項同欄「名古屋」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第三三號

復員廳地方復員局定員表中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十二年一月十五日

復員廳總裁

佐世保地方復員局ノ部中鹿兒島上陸地連絡所ノ項ヲ、大阪地方復員局ノ部中名古屋上陸地連絡所ノ項ヲ削リ合計ノ項中「七七三」ヲ「七五四」ニ、「二八〇九」ヲ「二七八〇」ニ、「五三五四」ヲ「五三二八」ニ改メル。

(參照 十月二十一日第二復員局公報)

復二第三四號

復員廳分課規程中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年一月十五日

復員廳總裁

別紙第二ノ第二十八條表中佐世保地方復員局ノ項運航部ノ欄「鹿兒島」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第三五號

復員廳地方復員局定員表中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十二年一月十五日

復員廳總裁

佐世保地方復員局ノ部中鹿兒島運航部ノ項ヲ削リ合計ノ項中「七五四」ヲ「七四二」ニ、「一七八〇」ヲ「一七五五」ニ、「五三二八」ヲ「五三〇二」ニ改メル。

(參照 十月二十一日第二復員局公報)

復員廳第二復員局公報

第七九號

昭和二十二年一月二十日
 復員廳第二復員局文書課

部
 長
 ○ 令 達

復二第二一號

元第八十五號哨戒特務艇

特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 哨特第八十五號

特別輸送艦(特)ニ指定スル。

昭和二十二年一月十一日

復員廳 總裁

警務課長

復二第三二號

元第三號哨戒特務艇

元第二十六號哨戒特務艇

元雜役船(驅潜艇型) 公稱第二八三號

同 公稱第二八六號

右ヲ特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

横須賀地方復員局所管

特別輸送艦 哨特第三號

同 哨特第二十六號

同 雜第一一八二號

右ヲ特別保管艦(特)ニ指定スル。

昭和二十二年一月十二日

復員廳 總裁

復二第三〇號

第二復員局連絡會報規程ヲ次ノヨウニ定メル。

昭和二十二年一月十三日

復員廳 總裁

第二復員局連絡會報規程

第一條 局内各部間ノ連絡ヲ緊密ニ保持シテ意志ノ疎通ヲ圖リ

特ニ對聯合國關係事項ソノ他ノ事務ヲ敏速ニ處理スルヲメ第

二復員局内ニ連絡會報ヲ設ケル。

第二條 會報ハ毎月、水、金曜日午前コレヲ開催スルヲ例トシ

局長、部長、課長及ビ部、課長ノ指定スル部、課員ガ出席ス

ルモノトスル。

總務部長ハ會報ヲ主宰スル。

會報ニオケル陳述事項ハソノ主務ニヨルノヲ建前トスルガニ

般事項ニツイテモ差シ支エナイ。

第三條 各部長ハ連絡又ハ報告スル事項ヲ取り纏メテ陳述スル

復員廳第二復員局公報 第七九號 昭和二十二年一月二十日

0423

ノヲ建前トスルガ課長又ハ部、課員ヲシテ代行セシメテ差シ支エナイ。

第二復員省終戦委員會規程ハコレヲ廢止スル。

○通 牒

二復經主第六號ノ一

昭和二十二年一月十六日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長 殿

郵便貯金通帳ノ移管ニ關スル件照會

聯合軍ニ接收サレ又ハ派遣元廳等デ保管サレテキタ元海軍軍人軍屬所有ノ郵便貯金通帳ノウチ、住所不明等ノ事山ニヨリ本人又ハソノ遺族ニ返還シ得ナイデ現ニ保管シテオルモノガアレバ、コレニ目録書(通帳記番號、預ケ人氏名ヲ記載スル)ヲ添ヘ選信省管下ノ各關係原簿所管廳宛移管スルトトモニ、ソノ目録書ノ寫ヲ當部宛送付サレタイ。

○雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 栗 橋 横須賀市浦賀町
同 海第二〇七號 横須賀運航部氣付
京都府舞鶴市 東舞鶴郵便局氣付

特別保管艦 竹

横須賀市田浦町
横須賀運航部長浦分室氣付

○殘務整理

昭和二十一年十二月三十一日開始 仙崎運航部殘務整理班
山口縣大津郡仙崎町舊仙崎運航部事務所(舊援護局邦人收容所)

○轉官

昭和二十一年 十二月十八日 地方事務官ニ轉官 復員事務官 小山金次

復員廳第二復員局公報

第八〇號

昭和二十二年一月二十二日(水)

第二復員局文書課

部長

〇令 達

復二第四七號

復員廳令 規則別紙第二中次ノヨウニ改正スル。

庶務課長

二十二年一月二十二日

復員廳 總裁

第一條第一項中「艦船運航課」ヲ「管船課」ニ改メル。

管船課職員

第一條第一項中「管船課」ニ改メ同條第二號ノ次ノヨウニ改メル。

管船課長

特別保管船、行動不能艦艇(未成艦艇ヲ含ム以下同ジ)及ビ雜役船(掃海部及ビ補給部ニ使用中ノモノヲ除ク)ノ

管船課

三、特別輸送艦船(特別保管艦ヲ含ム以下同ジ)乗員ノ教育ニ關スル事項

第二十四條第六號ノ次ノヨウニ改メル。

六、特別輸送艦船ノ運航及ビ掃海部及ビ艦艇及ビ雜役船ノ保管及ビ處理ノ方針ニ關スル事項

第二十八條中「運航部」ヲ「管船部」ニ改メ同部ノ欄實施事項

等ノ項第四號中「橫須賀運航部」ヲ「橫須賀管船部」ニ改メ第二號及ビ第三號ノ次ノヨウニ改メル。

二、特別保管船、行動不能艦艇及ビ雜役船(掃海部及補給部ニ使用中ノモノヲ除ク)ノ保管ニ關スル事項。

三、特別輸送艦船ノ乗員及ビ豫備員並ビ行動不能艦艇ノ保管員ノ教育及ビ收容ニ關スル事項。

附則

コノ命令ハ、昭和二十二年二月一日カラ、コレヲ施行スル。

(參照 昭和二十一年六月二十日第二復員局公報)

復二第四八號

復員廳第二復員局掃海部ノ職員方特別輸送艦伊王ニオイテ勤務スル場合ハ當令ヲ用イナイデ同艦ノ臨時乘組ヲ命ゼンレタモノト心得ヨ。

昭和二十二年一月十日

復員廳 總裁

復二第四九號

昭和二十二年一月二十一日

復員廳第二復員局長

關係各廳長 殿

臨時囑託報酬額算定ニ關スル件通牒

復員廳第二復員局公報 第八〇號 昭和二十二年一月二十二日

二五

0425

臨時囑託ノ報酬額算定ニツキ復員直前ノ俸給(給料、報酬ヲ含ム以下同ジ)六拾圓ニ滿タザルモノハ本年一月以降六拾圓ヲ基礎俸給トシテ昭和二十一年九月十六日二復經主第七號ノ一〇七(昭和二十一年九月三十日二復公報參照)ニヨリ算定スルモノトスル。

從來カラノ臨時囑託ヲ引續キ本年一月以降勤務ノ者方前項ニ該當スル場合ハ本年一月以降同様ニ改訂スルコトガデキル。

○雜 款

○轉官	昭和二十二年	地方事務官ニ轉官	海軍書記	齋田 博
同	四月十五日	地方技官ニ轉官	海軍技手	羽澤 常藏
同	六月六日	同	同	辰野憲太郎
同	七月十五日	商工技官ニ轉官	海軍技師	鈴木 武夫
同	同	運輸技官ニ轉官	同	合田 茂
同	同	地方事務官ニ轉官	海軍書記	藤井 益水
同	同	外務技官ニ轉官	海軍技手	高田 義則
同	八月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍司政官	石橋 丈夫
同	九月十五日	選信事務官ニ轉官	海軍技手	井上理三郎

同 去月二十六日 内閣事務官ニ轉官 復員事務官 齋藤 文武
 昭和二十二年 一月六日 厚生事務官ニ轉官 同 小川 量彦

○改姓

昭和二十一年 十一月二十日 岩下ニ改姓 復員事務官 大津 康弘 (電報符 西一九六)

○正誤

一月十五日附復員廳第二復員局公報第七七號通牒欄復二第五二七號中「退職手当」ノ會計科目電信略號「ヘリ」ハ「ヘヌ」ノ誤リデアル。

復員廳第二復員局公報

第八

事務主任

第二復員局文書課

昭和二十二年一月二十三日(木)

○令 達

復二第四四八號

吳地方復員局所管

特別輸送艦

海第三十六號

同

海第四十三號

右ヲ特別保管艦ニ指定スル。

同

三 宅

右ヲ特別保管艦(特)ニ指定スル。

同

海第三十三號

昭和二十一年十二月十日

復員廳 總裁

復二第五一號

昭和二十年内令第七號中次ノヨウニ改正スル。

昭和二十二年一月十五日

復員廳 總裁

大竹掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)四隻」
ヲ「雜役船(曳船)三隻」ニ改メル。

下關掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)六隻」

復員廳第二復員局公報 第八一號 昭和二十二年一月二十三日

ヲ「雜役船(曳船)五隻」ニ改メル。

(參照 昭和二十二年三月六日第二復員省公報第一〇號)

○通 牒

二復員第四號ノ一八

昭和二十二年一月十五日

第二復員局人事部長

關係各廳長殿

特別輸送艦醫療業務擔當者ニ對スル給與ノ件

通知

昭和二十一年六月一日以降醫師ニシテ特別輸送艦ノ醫療業務ニ
從事セル者(嘱託ヲ含ム)ハ辭令ヲ用ヒズンテ引揚援護院ノ嘱
託トナリ航海日數一日ニ付二拾四圓ヨリ第二復員局支給ノ航海
加俸ヲ差引タル額ヲ手當トシテ同院ヨリ支給セララルニ付關係
者ニ對シ右期間ニ於ケル航海日數(内地港灣碇泊日ヲ含マズ)
竝ビ之ニ對シ第二復員局ヨリ受ケタル航海加俸金額ヲ記入セ
ル當該艦長又ハ主計長ノ證明書(様式適宜)ヲ引揚援護院醫療
課ニ提出手當ノ支給ヲ受ケル様示達方取計ハレ度イ。
追テ昭和二十二年四月以後ノ請求ニ對シテハ支給セザル旨同
院ヨリ申入アリタルニ付至急手配ノコトニ取計ハレ度イ。

二七

0427

二復經主第六號ノ三

昭和二十二年一月二十一日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

日本銀行ニ對スル外國通貨等ノ引渡ニ關スル

勅令ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り大藏次官カラ照會ガアツタカラ、了知アリタイ。

(別紙)

昭和二十二年一月十日

大藏次官

内閣書記官長殿

日本銀行ニ對スル外國通貨等ノ引渡ニ關スル

勅令ニツイテ

右ニツイテ別紙ノ様ナ勅令ト大藏省告示ガ公布サレタカラ貴管下ノ官廳又ハ外廓團體等ニ御連絡ヲ願ヒタイ。

(別紙ハ昭和二十二年十二月二十九日官報ニ掲載ノ通りニツキコレヲ省略スル)

○ 雜 款

○ 改姓

昭和二十一年三月三十一日 非手ニ改姓 復員事務官 富永 敏男 (電報符 七三二五)

0428

復員廳第二復員局公報

第八二號

昭和二十二年一月二十七日(月)
第二復員局文書課

○通(牒)

二復總第二七號

昭和二十二年一月二十二日

復員廳第二復員局總務部長

各地方復員局總務部長
各上陸地連絡所長

外地ニ召喚セラレタ戦犯容疑者、證人及參考人
等ノ内地歸還時ニ於ケル處置ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ今般終戦連絡中央事務局政治部長ヨリ別紙ノ通
リ通報ガアツタカラ右關係者内地歸還ノ際周知方取計ハレタ
イ。

絡政第九五號

昭和二十二年十二月十四日

終戦連絡中央事務局政治部長

援護院次長殿

外地ヨリ歸還セル戦犯容疑者及證人、參考人
ニ關スル件

聯合軍指令ニヨリ戦犯容疑者又ハ證人、參考人トシテ国外ニ
召喚サレ無罪釋放又ハ要務終了シ歸國セル者ノ承知シ置クベキ

事項別紙ノ通りニ付各上陸地引揚援護局ニオイテ當該者ニ通知
方取計ラハレタイ。

(別紙)

一 歸郷旅費ハ最寄ノ終戦連絡地方事務局ニ出頭シ聯合軍發行
ノ釋放證明書又ハ要務終了ノ證明書ヲ提示セバ受領出來ル。

二 現地ニオイテ右證明書ノ交附ヲ受ケナカツタ者ハ終戦連絡
中央事務局政治部長戰犯事務室ヲ經テ聯合軍總司令部法務局ニ
出頭セバ交附サレル。

三 戦犯容疑者ニ指定セラレタ者ノ財産ハ現在差押ニナツテ居ル
ガ聯合軍總司令部ヨリ日本政府宛正式ノ釋放通知ガ來ルト大
藏省ニオイテ差押解除ノ手續ヲ探ルコトニナツテホル。

但シ右手續ニ若干ノ日時ヲ要スルノデ歸郷シタラバ所管ノ
稅務署ヲ通シ大藏大臣宛解除申請書(釋放證明書添附)ヲ提
出スルヲ可トスル。

四 巢鴨拘留所ニ殘置シタ荷物及入所スル時ノ旅費ハ戦犯事務
室ニテ受領ノ上各家庭ニ送付スル。

ナホ右ノ外不審ノ點ハ東京都芝區田村町一丁目終戦連絡中央
事務局戦犯事務室ニ宛照會サジタイ。

○雜 談

復員廳第二復員局公報 第八二號 昭和二十二年一月二十七日

二九

0429

○郵便物發送先

特別保管艦 雪 風 横須賀市田浦町

同 波 風 同 横須賀運航部長浦分室氣付

同 楠 風 同 横須賀市浦賀町

特別輸送艦 海第一四號 神戶市生田區波止場町中突堤

試航ノ船 わかくさ丸 大阪市港區南岸通り二丁目第

二突堤 阪神掃海部氣付

阪神掃海部氣付

○残務整理

昭和二十一年十二月二十五日開始 舞鶴掃海部残務整理班

京都府舞鶴市字長濱(舊舞鶴掃海部内)